

豊橋の豊かさを未来へ継承するために

No. 1

発行：豊田一雄事務所
 豊橋市多米西町三丁目 2-10
 Tel 64-6147 Fax 64-1401
 Email g-toyoda@tees.jp
 http://toyo.pbeins.net



臨時議会で体制を決定

5月15日、臨時議会が開催されました。主な内容は、議長、副議長の選挙と、常任委員会委員、議会運営委員会委員の選任です。

この時点における豊橋市議会の構成は、豊橋自民 11名、清志会 10名、公明党 6名、まちフォーラム 4名、共産党 3名、とよはし市民会議 1名、無所属 5名（5月17日より1名が紘基会結成）。選挙の結果、豊橋自民、公明党、まちフォーラム、共産党が推した、村松千春議長（豊橋自民）、岡本泰副議長（まちフォーラム）が誕生しました。この他、常任委員会、議会運営委員会の委員長は以下のように決まりました。

- 総務委員会：委員長・鈴木義則（公明党）
- 環境経済委員会：委員長・田中敏一（豊橋自民）
- 福祉教育委員会：委員長・坂柳泰光（清志会）
- 建設消防委員会：委員長・古関充宏（豊橋自民）
- 議会運営委員会：委員長・鈴木雅博（豊橋自民）

※現在、私はどの会派にも所属していません。目先にとられることなく、未来に豊かさの継承をするための施策を論じられるよう、所属すべき会派を考えていきます。常任委員会については環境経済委員会に配属されました。生活を支える経済、人間らしく生きるために大切な自然環境、両者を調和させるための課題が山積しています。（豊田）

6月議会（6月4日～14日） こども未来館条例などを可決

今回は、こども未来館に関する議案が最も注目すべきものと思われます。一つは“こども未来館”の設置と管理に関する条例で原案通り可決されました。条例では、事業内容を①子どものための遊び及びふれあいに関する活動②子どものための体験活動③子育ての相談及び情報提供④様々な世代の市民の交流に関する活動としています。管理については、一部の事業について指定管理者に委ねることとしていますが、市の考えでは当初3年程度は“集いゾーン”のみを指定管理者による管理とする考えで、その後順次、全てのゾーンを指定管理者に移行することです。

さらに「こども関連施設等展示等製作委託」の契約も

第一号発行の「挨拶」

多くの皆様のご支援をいただき、4月22日の選挙を経て豊橋市議会の一員となることができました。皆様のご期待に応えるため、初心を忘れることなく全力で議員活動を行っていきたくと考えています。

さて、この議員活動とは言うまでもなく、**市民の想いの代弁者**となることです。本会議あるいは委員会等で様々な発言をしなければなりません。そしてもう一つ忘れてならないことは、**市政に関する市民への情報の提供**です。市議会の様子を、しっかりとお伝えしていくことが大変重要なことだと考えています。若干の感想と私見を交えお伝えすることで、皆様との意見交流のきっかけとなることを目指します。その意味でこのレポートを『さずな』と名づけました。ご感想などお寄せいただければ幸いです。どうぞよろしく願います。

平成19年7月
 豊橋市議会議員 豊田一雄

議案としてあげられました。展示造作、グラフィック、模型造形、音響・映像等の製作及び設置一式についてです。指名競争入札により東京都の榊丹青社が5億8千8百万円で落札、その業務委託契約が承認されました。



※こども関連施設（こども未来館）については、その必要性に関する疑問など多くの議論を呼びました。しかし、既に建設が始まった今、より有益に、より有効に施設が利用される方策を考えていかなければなりません。展示ソフトの充実が望まれます。（豊田）

